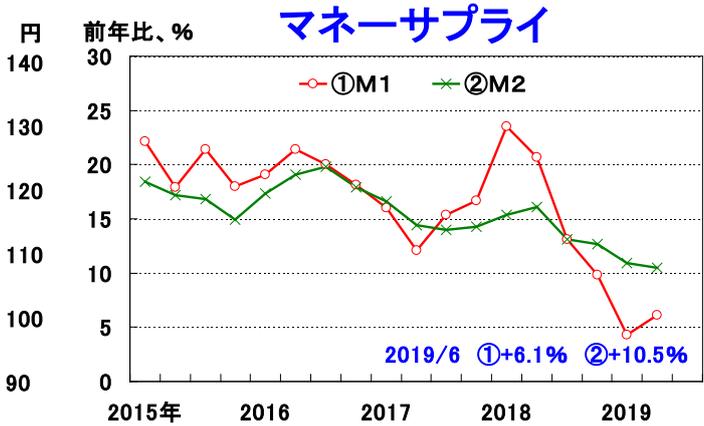
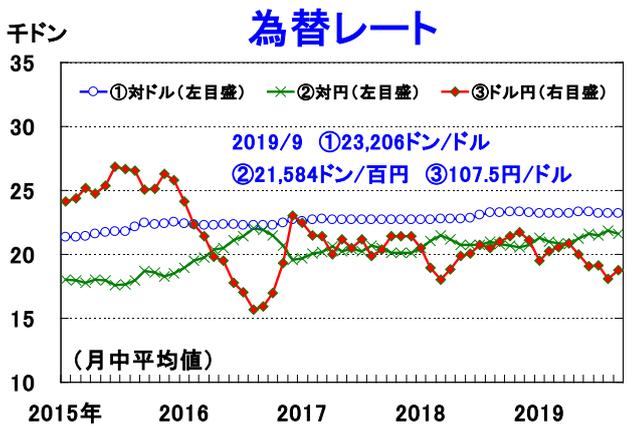
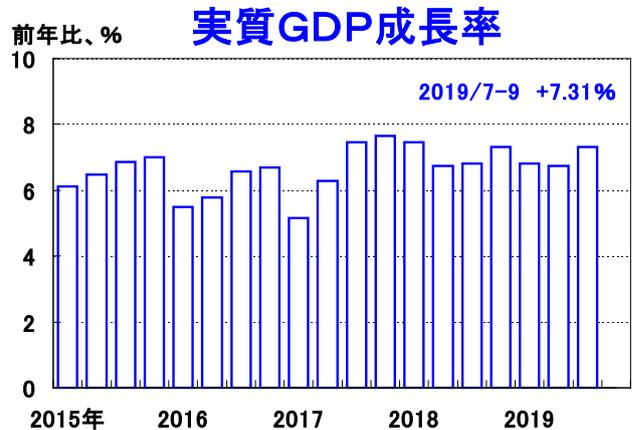
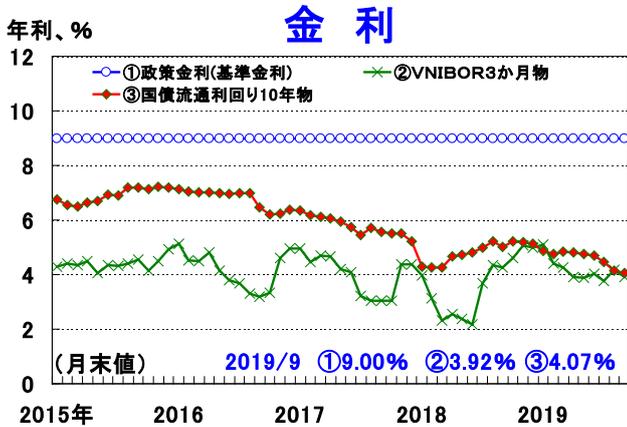


グラフで見るベトナム経済 2019年10月号(No. 117)

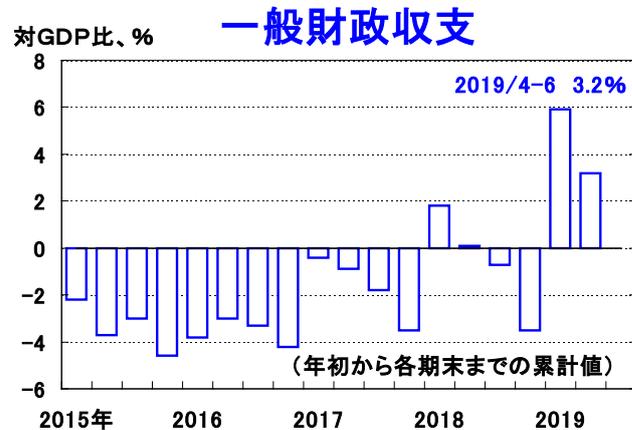
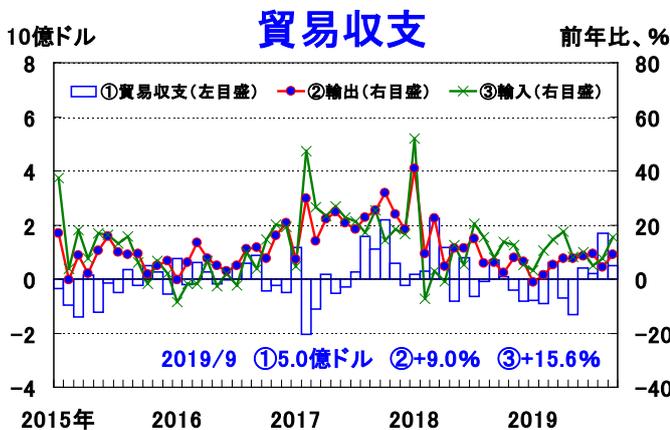
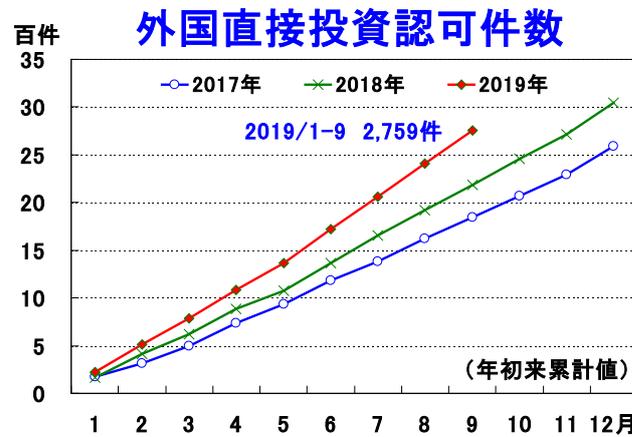
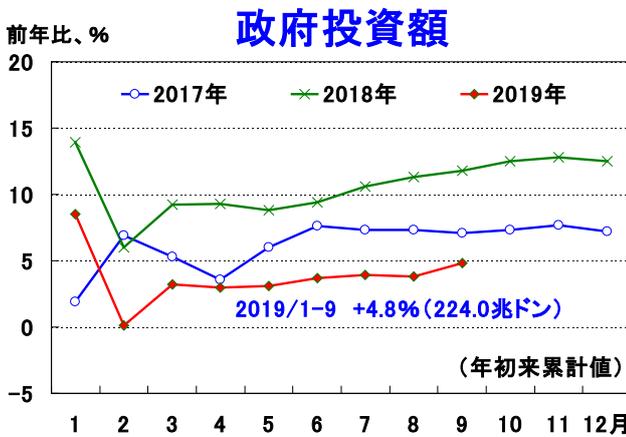
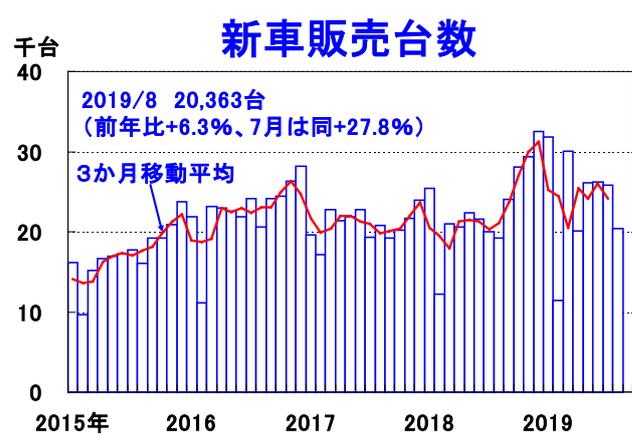
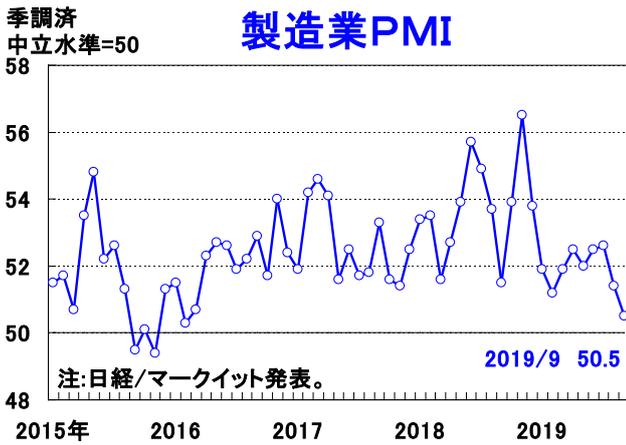
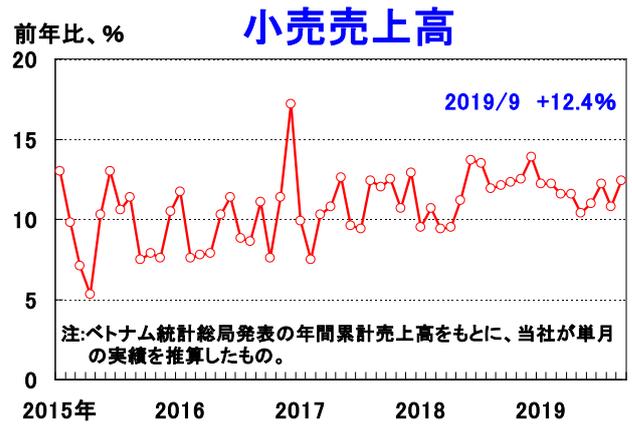
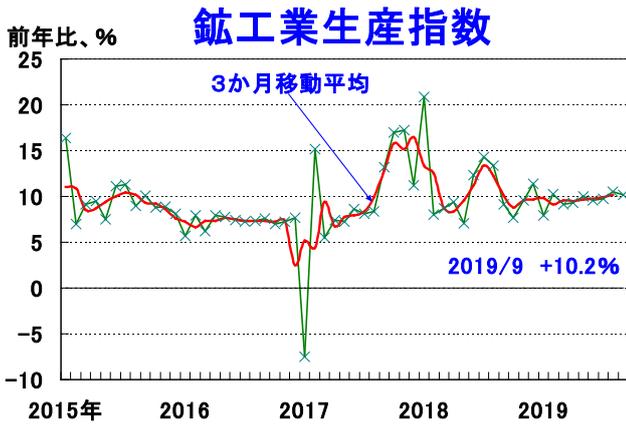
2019年7～9月期の実質GDP(国内総生産)は前年比+7.31%(推定値、前期は同+6.73%)と、成長率が上昇した。農林水産業(4～6月期:前年比+2.04%→7～9月期:同+1.53%)が減速したものの、鉱工業・建設業(4～6月期:同+9.14%→7～9月期:同+10.05%)とサービス業(4～6月期:同+6.85%→7～9月期:同+7.11%)がいずれも増勢を強めた。一方、直近の月次指標をみると、9月の製造業PMIは50.5(中立水準は50)と2016年2月以来の低水準にとどまった。内訳をみると、「生産」が50を下回り、「新規受注」も低下した。



【今月のトピック: 電力不足対策が喫緊の課題に】 ベトナムのグエン・スアン・フック首相は、早ければ2021年にベトナムが電力不足に直面する可能性がある」と指摘し、関係閣僚に発電供給能力の拡充を急ぐよう指示した。近年、ベトナムの電力需要は年約9%増と、経済成長率の約7%を上回る伸びで拡大している。自国産の原油や天然ガスを利用した発電計画は、電力会社の資金調達力の制約や中国との資源開発を巡る対立により、遅延している。水力発電の開発も様々な事情により遅れている。このため、ベトナム政府は太陽光発電の拡大に注力している。

(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。